

市民とともに市政を変える

保育園・待機児童問題について 市長に申し入れ

全国で問題となっている保育園・待機児童問題について、日本共産党京都市会議員団と同京都府委員会は、4月14日、京都市における待機児童の実態を明らかにし、認可保育所を増やすなど自治体としての公的責任を果たすよう、市長に対して申し入れを行いました。

この申し入れには、党府委員会を代表して大河原としか氏が参加。市議団からは、山中団長をはじめとして多数の議員が参加し、保健福祉局長らが応対しました。



二条城第2駐車場計画 「壊すな世界遺産」と怒りの声が広がる

世界遺産・二条城の敷地内で市が樹木を伐採し、大型観光バスの第2駐車場を新設する計画に、「壊すな世界遺産」「二条城第2駐車場建設断固反対」と住民の怒りの声広がっています。

4月14日には、近隣住民らが「生活環境が脅かされる」として、市長に計画の撤回を求める公害調停を府公害審査会に提出しました。同審査会は今後、3人の調停委員会を設け、住民と市から事情を聞くこととなります。



戦争法廃止へ 「2000万人署名・宣伝」

戦争法が3月29日に施行されましたが、この法律をそのままにしておく、日本の自衛隊が、戦後初めて外国人を殺し、戦死者を出すという危険が現実のものとなります。

日本共産党京都市会議員団は4月14日夕方、三条河原町で市議団として戦争法廃止を求める「2000万人署名・宣伝」に取り組み、多くの市会議員が参加しました。



介護保険制度の改善へ 「つどい」やアンケート活動



日本共産党京都府委員会は4月3日、「介護を考え、語り合うつどい」を開き、大河原としかが弁護士が介護保険制度の問題点と改善方向について報告。日本共産党市会議員団からも多数の議員が参加し、玉本なるみ議員が京都市の介護保険行政の現状を報告しました。

市会議員団では、引き続き、①「介護事業者へのアンケート」、②「ハガキつきピラによる市民アンケート」の二つのアンケートに取り組み、議会での論戦に生かすことにしています。

「九州地方地震 被災者救援・支援募金」を心から訴えます

この募金は日本共産党がお預かりし、被災地の自治体や関係機関への義援金、被災者の救援活動にあてます。

【募金先】もよりの地区委員会、議員にお届けいただくか、下記に送金ねがいます。

【口座番号】01940-8-55836

【加入者名】日本共産党熊本県委員会

※通信欄に「地震募金」と記してください。

●救援物資は、党福岡県委員会へ送ってください

【送り先】日本共産党福岡県委員会 救援物資係
〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉5の6の14
電話 092-411-5131

【必要な物資】缶詰、乾パン、レトルト食品などの日持ちのする食品、飲料水

